

AED（自動体外式除細動器）

AED（自動体外式除細動器）とは、突然心臓が正常に拍動できなくなって、心停止におちいった心臓に対して電気ショックを行い、心臓が正常なリズムで拍動できるようにするための医療器具です。この AED は、2004 年 7 月から医療従事者でない一般の人でも使えるようになり、病院や救急車だけでなく、学校、公民館、駅、スーパーやコンビニなど様々なところに設置されています。（馬生会館にもあります。）



心臓が正常に拍動できなくなるということは、心臓から全身に正常に血液を送れなくなるということです。すなわち、それは、脳や臓器に血液が送れなくなるということです。血液が送れなければ、酸素も届きません。その時間の長さは、生存率や、後遺症に関係してきます。心臓が血液を送らなくなると、3～4分で脳の回復が困難になるそうです。

救急車が到着するには平均で 8.9 分以上かかっています。（総務省消防庁 統計資料 R3 年）

よって、救急車が到着するまでの間にできるだけ早くその場にいる人が AED を使って、心臓に電気ショックを行うことが、とても重要だということです。

AED は、操作方法を音声で教えてくれるので、簡単に使うことができます。

とはいっても、見たことも触ったこともないでは、いざという時使えません。

和合町自主防災隊では、11月の防災訓練時に消防隊の方による AED の使い方の実践を見せていただいています。また、浜松市では、浜松市防災学習センターや消防局にて、救命講習を開催しています。（詳しくは、広報はままつ3月号 または 市HP 救急講習 で検索）

AED の使い方

人が倒れているのを発見！！

- ① 安全を確認する
- ② 肩を叩いて意識を確認する「大丈夫ですか?? 大丈夫ですか??」
- ③ 助けを呼ぶ（1人で動くのではなく協力者に依頼する）
「あなた！119番通報してください」「あなた！AED 持ってきてください」
- ④ 呼吸の確認をする。（胸の動きを見て判断。10秒以上）
- ⑤ 胸骨圧迫（胸が5cmくらい沈む強さで1分間に100から120回）
（できる場合は、30回胸骨圧迫→2回の人工呼吸）
- ⑥ AED を音声に従って操作する
 - 1・蓋を開けると自動で電源が入る
 - 2・電極パッドを胸に貼る
 3. 「体から離れてください」と周りに告げて
 - 4・ボタンを押して電気ショック。
- ⑦ 救急隊に引き継ぐまで心肺蘇生を続けましょう。



AEDのある場所、使い方を覚えておく、知っておくだけでも、大事な命を救えます。